

西の湖でのアオコの発生について (第1号)

令和6年6月17日(月)、東近江環境事務所の職員が近江八幡市安土町常楽寺および下豊浦付近の西の湖の2定点において、今年初めてのアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学研究センターがプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでした。

なお、今後の西の湖周辺でのアオコの発生状況は、県HP「今日の琵琶湖」において情報提供していく予定です。(滋賀県HPトップページ→Mother Lake 琵琶湖→今日の琵琶湖)

(<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(°C)	構成プランクトン(群体数/ml)
山本川河口(西) (近江八幡市安土町常楽寺)	6月17日 9時54分	30m× 5m	4	27.3	ミクロステイス属 14,000 アババ属 2,800 アファゾメノ属 40 オシトリア属 81
艇庫前 (近江八幡市安土町下豊浦)	6月17日 10時40分	80m× 5m	4	27.3	ミクロステイス属 14,000 アババ属 2,000 アファゾメノ属 0 オシトリア属 0

〈参考〉

レベル4: 水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5: 水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6: アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。



山本川河口(西)



艇庫前

今回確認されたアオコ(写真が必要な場合は、JPG形式のデータで提供可能です)